

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム・アンダンテ

(ユニット名) 西ウイング

記入者(管理者)

氏名 皆川 隆子

評価完了日

平成 20年 8月 26日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方やボランティア等が見ても分かりやすい内容の理念であり、その理念のもとに意識を持って支えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「優しい笑顔・安心、ゆとりのある生活・その人らしい生活」という事業所独自の3つの理念を掲げておられる。</p>		事業所では、今後、地域密着型サービス事業所として、地域の中でどのように取り組んでいくか、という目標を立てたいと考えておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>申し送り等で職員間での理念を共有し、実践している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員で話し合い、今年は「優しい笑顔」で取り組めるよう、特に力を入れていきたいと考えておられる。</p>		常に理念に基づいた実践ができているか振り返り、実現に努めたい。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>家族に対しては、理念を基本に支えている旨を色々な場面を通して伝え、言動や介護を実際に見ただき、理解を得るよう努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 少しずつではあるが、気軽に挨拶などにて事業所を知ってもらい、来所してくれる人が増えていると思われる。		今後も職員が率先して近隣の人々とかかわりを持つように努め、当ホームの訪問や交流を働きかけていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 秋祭りには、神輿の立ち回り所を申し出、多数の子供達・地域の人々との交流を図った。当ホーム理解の一助となった。 (外部評価) 地域のボランティアの方が、定期的にパステル絵の指導に来て下さったり、三味線の演奏を披露して下さい。事業所で育てた野菜を近隣の方におすそ分けすることもある。		地域の行事等には参加していきたい。 今後、事業所では、地域行事への参加を積極的に行い、奉仕作業等にも参加し、地域との関係を深めていきたいと考えておられる。又、事業所、両ユニット間にあるホールを開放することも検討されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 現状は取り組みはしていないが、グループホームとして役立つ事があれば取り組んでいきたい。		今後、地域の各機関との情報交換に努め、グループホームとして地域の方の支援を進めたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を行うことで各自気付くことが多く、評価を活用すべき所は会議等で話し合っている。今回は全員が自己評価に参加した。 (外部評価) 自己評価を全職員で取り組むことで、職員から自発的に「認知症のことをもっと知りたい」「身体拘束について深く勉強したい」等の意見が出される等、職員の研修に対する意識や意欲向上につながった。この一年「事業所便り」の作成や市内の他事業所との交流に、特に力を入れて取り組まれた。		評価を活用して、より改善していきたい。 サービス評価に取り組む際に、事業所自身で気付かれたことは、改善への取り組みの起点でもある。今後も評価結果等を活かし、事業所のケアの質向上に取り組まれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議にて、現状について具体的に話をし、それについての意見を率直に取り入れ、サービスの向上に活かしている。</p>		<p>行事や日常生活の参観の機会を増やし、多様な意見を伺い、改善に生かしたい。</p>
			(外部評価)		
			<p>会議の回数を重ね、地域との関係も深まってきている。「アンダンテ便りを市や社協に置いてはどうか」という提案をいただき、実行されている。</p>		<p>今後、会議時に外部評価の結果等も報告し、ケアについて等、意見をいただきたいと考えておられた。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>事業所間の集まり等に参加して、情報交換をしている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>調査訪問時、介護相談員の訪問があり、利用者の方とお話をされていた。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>活用し、支援するところまで至っていない。</p>		<p>主体的に学び、個に応じた対応に生かしたい。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>人間尊重を基盤に、一人一人の思いや状況に沿った介護に努めている。また、常に身体等の観察を行い、十分注意を払い防止を行っている。</p>		<p>全職員が重要課題として実践するよう今後も働きかけ、防止の徹底に努めたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 書類の説明をする中で、疑問点や不安については分かりやすい言葉で十分な説明をして、理解や納得を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 定期的に介護相談員が来所したり、家族より意見の聞ける機会を作ってサービスの向上に活かしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や支払いなど、来られた時に個々の状態を報告している。		利用者一人一人について、今後もきめ細かな介護に努め、多様な情報を収集して、的確な報告に努める。
			(外部評価) ご家族の訪問は頻繁にあり、その都度、職員は、近況報告をされている。ご家族から要望もあり、「アンダンテ便り」に職員の名前を写真入りで載せるようにされている。事業所での預かり金は、買い物を行った際に随時、ご家族に報告するようになっている。		さらに、事業所での食事支援や入浴支援・外出支援等、ご家族が知りたい情報を探り、定期的に知ることができるような仕組み作り等を、工夫されてはどうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の面会時には、意見が言える環境を作り、それをサービス向上に反映させている。		全職員が共有して、適切な実践に努める。
			(外部評価) ご家族の来訪時や運営推進会議、又、電話等で意見を出していただけるよう働きかけておられる。		さらに、「お世話になっているので言いにくい」というようなご家族の心情も踏まえて、ご家族が意見を出しやすいような体制や雰囲気作りの工夫が期待される。又、事業所にご家族が訪れやすい雰囲気作りや、具体的にご意見をいただけるような働きかけ等についても、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の職員会議を利用して、職員が意見を出し合ったり伝達事項の徹底を図る機会にしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員の要望には柔軟に対応をしている。行事等には職員の配置は調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 平屋の2ユニットであるので、常に利用者とはなじみの関係作りをしている。また、全員で集まる機会を作り配慮している。		
			(外部評価) 日頃から職員・利用者ともに、ユニット間で行き来きされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月1回の職員会・各ユニットでの話し合いの場にテーマを設定し、意見交換等に取り組み、介護やサービスの向上に努めている。課題についてはその都度、不定期ではあるが勉強会を行っている。		定期的に介護技術の勉強会を行っていきたい。
			(外部評価) 新しい職員は、先輩職員に付いて習うようにされている。事業所内では、「利用者の思いに添う支援」等、資質向上に向けて勉強を行ってられる。		職員個々のさらなるスキルアップから、事業所のケアの質の向上を目指していかれることが期待される。さらに、ご家族に向けて事業所で行っている「職員を育てる取り組み」について報告されたり、時には、ご家族から「職員の利用者への対応」について、ご意見をいただく機会等も作ってはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			月に1回の介護ネットに参加して、交流の機会を持って情報交換を行っている。		今後も、主体的に取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			管理者・計画作成担当者は、地域のケアネット会議に参加し、他事業所と交流されている。		今後もネットワークを広げ、他事業所との交流や意見交換を通じて、事業所のさらなるケアの質向上につなげていかれてほしい。又、職員の離職を抑えられるような取り組みの工夫を重ねていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			各ユニットで話し合ったりする時や、日々の勤務の中で、職員の気持が理解できるように努めている。		何でも話せる雰囲気作りや、職員会の交流・親睦を図る機会等配慮したい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者は、毎月の職員会に出席し、職員の意見を聞くと共に、具体的な指示・助言をしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			日々のコミュニケーションの充実に努めると共に、本人とは面接で情報収集を行い、不安にならないように配慮しながら本人さんの思いを聞くようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 看護師と協力しながら情報収集を行い、家族が望む事を聞くようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人の状態を把握し、家族の思いや希望を聞き、その人にあったサービスを提供するように努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前見学をしてもらって、少しでもホームの雰囲気を感じてもらい、なじめるように職員が対応している。 (外部評価) 入居前、職員は、利用者を訪ね、ご本人やご家族、ケアマネージャー等から情報収集をされている。又、入居間もない頃に職員は、ご本人と接する時間を多く作るよう心がけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 家事や畑での野菜作り等、生活全般において、利用者より知恵を借り、学んで共に歩む生活をしている。 (外部評価) 職員は、利用者から野菜の蒔く時期を教わったり、時代劇や戦争時のTV番組と一緒に見ながら、歴史や戦争体験についてお話を聞かせてもらっている。		一人一人について更に理解を深める努力をして、充実した生活の実践を目指したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人の訴えに対しては耳を傾け、必要とあらば家族に連絡して、協力して問題解決に取り組んでいる。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族が訪問しやすい環境を作り、本人さんの日々の様子をお伝えしたりして、職員と関係作りを支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 家族に対しては、友人や知人の面会には積極的に支援する旨を伝えて、職員間でも大切にしていこうと努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 行事や食事など、席割については配慮しているし、スタッフが間に入り良い関係が保てるように考慮している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 病气療養の為の入院中の利用者へはお見舞いをして、家族とも連絡を取り合っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常生活のかかわりのなかで、本人の思いを把握するように努めている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>職員は、特に、昼食後のゆったりした時間帯や入浴時等、ご本人の思いや意向をお聞きすることが多い。</p>		<p>ご本人主体の支援を行うためにも、ご本人の思いや暮らしの希望をさらに探っていかれてほしい。</p>	
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族や、友人・知人、サービス事業者などで情報を集める努力をしている。また、背景についても、本人や家族の協力を得て情報収集をしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々のケース記録や連絡ノートを活用し、申し送りをして状態把握に努めている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族の希望を考慮して、介護計画を作成している。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>「野菜作りをしたい」等のご本人の希望等を踏まえ、医師の意見も採り入れながら介護計画を作成されている。</p>		<p>介護計画を作成する際、ご家族の意向等も踏まえ、相談しながら作成するような取り組みもすすめていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			家族の思いや本人の状態を考慮して、サービス担当者会を開いて見直しを行っている。		毎月のウイング会を活用して、一人一人の介護について話し合い、見直し改善に取り組んでいる。
			(外部評価)		
			6ヶ月毎の定期的な見直しと、状態変化時に随時見直しを行うようになっている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケース記録を行い、ケアチェック表を作成し、個別の支援を行うことに努めている。日々の申し送りの中で、情報を共有する事ができている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			治療が必要とあらば、母体の病院及び訪問看護とともに連携をとり、支援をしている。		母体である病院の看護師が、当グループホームへのかかわる時間を増やしている。心身の状況についての把握や処置が適切に進められ、健康の保持に成果をあげている。
			(外部評価)		
			理美容院への送迎や、時に、ご自宅に様子を見に帰ることも支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月介護相談委員が訪れたり、パステル画や生け花・三味線のボランティアなどが来訪してくれている。		地域の小学校の総合学習（福祉教育）での交流・保育園児との交流を実施し、双方向的に成果を上げている。今後も継続したい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	状態に応じて、福祉用具のサービスを利用することもある。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に包括支援センターの職員も参加しているため、情報交換を行っている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前からのかかりつけ医に受診されている方もいる。その時は通院介助を行なうこともある。		母体である病院長がきめ細かに診療をしているが、更には市医師会のネットワークを活用し、必要に応じ適切な医療に万全を期している。
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(外部評価) 以前からのかかりつけ医を受診できるようになっている。その場合、母体病院院長の医療ネットワークで連携を取っておられる。		ご本人の体調や状態のことは、ご家族も心配なことであり、病院受診時の結果等についても、さらに詳しい報告がほしいご家族もいるのではないだろうか。
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医療的なことは、母体である病院の医師に指示や助言をもらっている。		運営者が専門医であるため、一人一人に応じた診断や治療ができることは大変心強い。小さな変化も見逃さず、適切な診断や治療を受けられるよう配慮している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携シートを活用し、情報交換を行いながら、指示や助言を貰っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院側と連携を密にして、退院後の受け入れ体制を整えることに努めている。		運営者が病院長の為、本市の医療機関との連携体制が緊密にできている。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えるにあたり、医師・訪問看護と連携を取り、対応については申し送り等にて周知している。 (外部評価) 入居時には、看取りの指針について説明をされている。さらに、食事や水分が摂取し辛くなった状態時、医師・ご家族等と今後の方針を話し合うようにされている。		重度化した場合や終末期のあり方については、ご本人ご家族も不安な点でもあり、時に、話し合うような機会を作ってはどうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者の状態に合わせて家族の意向を確認し、医師や訪問看護と相談しながら、ホームで出来ることを支援している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者が不安にならないようにするために、十分な情報交換を行うことに努める。		複数の職員が事前に旧居所での生活を観察したり、情報把握に努め、受け入れ体制に万全を期すよう努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			利用者に対する言葉遣いや声かけには注意しているが、十分ではないと思う。個人情報に関しては、鍵のかかる書庫にて管理している。		人権尊重を根底に、一人一人の尊厳を大切にして言動に配慮するよう職員間で注意しあっている。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の行動を止めることなく対応されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			本人が自己決定できるように接したり声かけしたりしているが、利用者とのかわりが少ないと感じることもある。		一人一人をよく観察し、希望や生きる力の表出を見取る目を持ち、現状での最大の自立を援助することの在り方について職員相互の研修の機会を多く持ちたい。
			(外部評価)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			職員によっては、自分の都合や能率的に進めようとすることもあるが、その都度、指導・助言に努めている。		利用者9人、それぞれに違う個性を持っていること、思いや願いについて把握した情報を共有し、希望に沿った支援に今後も力を入れたい。
			(外部評価)		
			食事の下膳等、職員のペースで進めておられる場面も見受けられた。		利用者一人ひとりの暮らし方の希望等をさらに探り、個々のペースに応じた職員のかかわり方を模索していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人が希望する美容室へ出かけたり、移動散髪を利用している方もいる。全員身だしなみはよい。		特に女性については、おしゃれや美容についてアドバイスをし、生き生きと生活できるよう支援していきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備や盛り付け・片付け等を手伝ってもらっている。		季節感を味わう食事の提供は、色々な行事等の折には献立等を工夫している。
			(外部評価) 調査訪問時の食事時には、菜園で収穫された野菜のお話が弾み、和やかな雰囲気であった。誕生日にはご本人が食べたいものをリクエストしてお祝いされている。		さらに、ご家族も利用者とともに食事をする機会を作る等、食事の内容や量、希望等について具体的に意見を出せるような機会を作ってはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人一人の好みを把握して、家族に届けてもらったりホームで購入したりしている。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) トイレでの排泄を促がしプライバシーを守り、チェック表を基にして一人一人の排泄パターンを把握するように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			週二回の入浴を実施している。夏場に関しては入浴回数を多くし、体調や本人の都合に合わせて、入浴介助をしている。		
			(外部評価)		
			入浴を喜ばれる方が多く、ご自分の力で浴槽に入りやすいように踏み台等を置いておられた。		さらに、利用者の中には入浴時の支援について、同性介助を望まれる方もいるのではないだろうか。ご本人の入浴についての希望をさらに探ってみてはどうだろうか。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			その日の体調や状況をみながら対応している。		日中多くのことを感じ、動きを活発にするよう促し、夜の心地よい安眠につながるよう努めている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			毎月ボランティアの協力で、生け花や三味線の演奏・パステル画を楽しんでいる。これからは一人一人に合った楽しみの支援を見つけていきたい。		昔好んでしていたカルタ・百人一首・将棋・カラオケ・バレーボールなど、折々に取り入れ楽しい時間が持てるようにしている。
			(外部評価)		
			食器拭きをされたり、菜園で野菜を作り、皆さんに食べていただくの楽しみにされている方もおられる。毎朝、自室の仏壇にご飯とお茶をお供えされている利用者もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自己管理が出来る方はお金を持っているが、ほとんど使うことがない。使う機会を増やしていきたいと思う。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			超高齢者・歩行困難な人も多く、外出支援は十分にできていない。散歩等で戸外に出かけるように努めている。		
			(外部評価)		
			朝夕の涼しい時間に、事業所の周りの散歩をすることもある。事業所の花木に水遣り等をされる方もいる。		事業所では、外出については「車での外出について」の調査等も行い、積極的に取り組もうとされている。さらに、日常的にも出かけるような機会を増やし、利用者の生活を拡げていかれることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			まだまだ外出支援は不十分であるが、家族の協力をいただき、外に出かける機会を作りたい。		砥部焼きの絵付けに出かけ、オリジナルの湯飲みを作った。外出については家族の意向を伺い、外出承諾書を出して貰った。今秋、砥部動物園に外出予定である。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族や知人に自分から電話をしている方もいる。知人や親族などの外部からの手紙も届いている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			地域の方や家族・知人等が訪問しやすい雰囲気を作り、挨拶等で居心地よく過ごせるように努めている。		職員は訪問者に親和的に接し、入居者の生活の様子やエピソードを伝えるとともに、多様な側面からの情報を得て、日々の支援に生かすようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員一人一人が身体拘束を正しく理解したうえで、拘束のないケアを実践し、全職員が共通認識を持っている。		認識と理解の徹底を今後も図っていきたい。職員一人一人が入居者に丁寧にかかわり、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室はもちろんのこと、玄関も夜間以外は基本的に鍵をかけないようにしている。安全を守ることを全職員が認識して注意している。 (外部評価) 日中は、玄関に鍵をかけず、職員は見守りをされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は声かけや所在確認ができる状況を作り、居室の見守りを小まめに行い、安全に配慮している。		利用者が認知症であることから、絶えず危機感を持って所在確認や様子の把握には万全を期し、安全の確保に力を入れたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 個人の希望の物品を持参してもらい、危険な物に対しては、職員による安全管理のうえで、使用又は保管している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故に対しての予測を立て、知識を深めたうえで防止対策に取り組んでいる。 火災を想定した避難訓練を実施している。		事故防止については他所の事例に学び、機会あるごとに研修をして、一人一人の危機管理意識を高めることに取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 予測しえる状況や対応について、医師や看護師と連携を取り急変時に備えている。		AEDの操作や応急手当など、今後の研修として取り組みたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の避難訓練を実施している。災害時の避難場所や方法については、職員が把握し実施できるように取組みをしている。		色々な場合を想定した避難訓練を実施し、利用者の命と安全を守ることに力を入れたい。
			(外部評価) 居室入り口にかけておられるネームプレートの裏側には、「確認済み」と記されており、いざという時、利用者が避難できたかを素早く確認できるよう工夫されていた。		さらに、いざという時、地域の方々の協力が得られるよう、運営推進会議等で働きかけをされていかれてはどうだろう。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 個々のリスクとなる問題については、職員間では周知を図り家族には説明し、納得してもらった中で取り組んでいる。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化のある人については、カンファレンスや申し送りや情報共有し、全職員が共有認識を持ち対応策を検討し実施している。		母体である病院長(理事長)に報告し、適切な処置ができています。午前中は看護師が滞在して、体調について観察・処置をしています。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の内容については処方箋を基に管理し、用法や用量についても理解しやすく間違わないように、全職員が内容を把握し確認するという作業をとっている。		間違いなく適切に服用できるよう、ウイング会の度に職員の自覚化を促がしている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の原因や日々の生活の中での様子を再確認したうえで検討し、その人にあった工夫を考え、それを実践している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの呼びかけや誘導を行なっている。一人一人の口腔状態については把握できていると思う。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量や水分摂取量のチェックをするなかで、足りてないものについては補っていくように支援している。好みの習慣についても柔軟に対応していくようにしている。 (外部評価) 運営推進会議時に事業所の日常の食事の試食会を行い、出席者から意見をうかがったり、母体病院の院長や職員の代表で「食事委員会」を立ち上げ、栄養バランスやカロリーが確保できるよう取り組まれている。又、水分は少しずつこまめに摂取できるよう配慮し、夜間、トイレに起きた際にも声をかけるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 考えうる感染症に対しては、対策のマニュアルを作成し、周知徹底するように指導をしている。		予防を第一に衛生に気をつけている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食材の賞味期限のチェックや、古いものから使うなどの意識付けを行っている。手・指の消毒を行ってから調理を行なうよう徹底している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花を植え、明るく親しみやすい環境を作り、玄関には置物などで家庭的な雰囲気を作って工夫している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が使い易いように工夫をしたり、整理整頓を心がけ、清潔感のある空間が保てるようにしている。</p>		<p>共用空間が住む人に心地よくゆったりと、温かみのある設計ができていることが、当ホームの特徴である。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>天井が高く窓も大きく、近代的な建物の事業所である。調査訪問時、きれいに掃除がなされていた。両ユニットの間にあるホールでは、交流できるようになっており、利用者の塗った絵を掲示されたり、カラオケや映画鑑賞を楽しまれている。</p>		<p>さらに、利用者の住み心地のよい環境作りに向けて、利用者ご本人、ご家族の意見等もお聞きしながら取り組まれてほしい。さらに、日々の掃除等も利用者とともに行えるよう、取り組まれてはどうだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>安心できる居場所の環境作りには配慮している。ストレスにならないような共用空間を確保し、対応している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人の慣れ親しんだものも取り入れ、安心できる環境を作っている。		
			(外部評価)		
			愛読書・雑誌、洋服、冷蔵庫、テーブル、仏壇等が持ち込まれていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			季節や風を感じられるように窓を大きくとり、換気を行なっている。また、室温調節は小まめに、温度計を目安に調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			個々の身体の状態に応じた配慮をして、安全には十分に注意をしながら、自立した生活が送れるよう見守っている。		利用者が日常生活の中で無理なく動く事ができ、自立的生活を支援できるような環境(施設)となっている。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			個々のペースでできる事を十分理解したうえで、声かけや見守りをしながら、その人らしい生活が送れるよう配慮している。		今後も一人一人の生きる力と可能性の観察と理解に努め、自立を支援し、一人一人が輝く時を実現していきたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			目の届く場所に花を置いたり、花壇の手入れや水遣りができるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	生活歴や好きな事を家族や本人よりお聞きし、考慮したうえで日々接している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	時間にはゆとりを持って、コミュニケーションを取るよう心がけている。(例えば、テレビを観ながら昔を懐かしんだり、思い出したりできるよう声かけをする。)
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人のペースを優先し、集団での行事等には出来るだけ声かけして参加してもらっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が不安になる原因を考え、事前に対応することで、落ち着き穏やかな表情で過ごしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望であったり、気分転換や運動の為、天気の良い日は少しでも外に出かけるようにしている。身体の状況により戸外に出にくい人もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	薬の管理やバイタルチェック、食事・水分摂取量のチェックなどで状態把握に努め、医師・看護師との連携をして、不安を取り除けるよう対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人一人の思いや願いを受けとめ、出来るだけ対応している。難しい場合は家族の協力も得ている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時や電話等で相談を受け入れ、出来るだけ速やかに対応するよう心がけている。家族の要望は限りないが、寄り添うよう努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族や友人・知人など、自由に来訪され過ごしている。また、地域の方はボランティアとして来訪され、馴染みの関係ができています。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	ホームを開所して1年余りであるが、地域住民や関係者が意見交換を行うことで、グループホームのことを少しずつ理解してもらっている。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間のコミュニケーションは図れている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の笑顔や穏やかな表情などから、安心して過ごされていると思われる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時には利用者の状態を必ず伝えるようにして、気がついたことは何でも話してもらえるように、親しみやすい環境作りをしている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

安心して落ち着ける環境を作り、個々の意見を尊重し、自由に過ごさせる時間を大切にしている。
 趣味の時間を持つ事で、楽しみや生きがいとなる環境作りに取り組んでいる。
 職員は利用者との関わりの時間を大切に、信頼関係を築けるよう心がけている。
 医師や看護師との連携により、安全で安定した生活を提供していく。
 職員間の共通理解、資質の向上を図るため、職員会・ウイング会の充実を図っている。